

かがわようやくひっきたんぽぽ

加古川要約筆記たんぽぽ

分野 まちづくり 活動支援

目的

中途失聴者のほか、すべての耳が聞こえない、聞こえにくい、手話がわからない方々に聞いて伝える同時文字通訳（要約筆記）をして、情報コミュニケーションのための通訳となあり、社会参加を支援する事。障がい者の方々の深い理解を深め、推進啓発をすること。

内容

- ・要約筆記の「三原則（正しく・速く・読みやすく）」を習得するため、日々研修を深め、耳代わりになって書き続け伝える。
- ・少数の場合はメモによる筆談（ノートテイク）を多数の場合はオーバーヘッドカメラを利用し、スクリーンに映し出して伝える手書き要約筆記。
- ・パソコンに入力してプロジェクターでスクリーンに映し出すパソコン要約筆記を行い情報の保障をする。

活動実績

加古川身体障害者福祉協会（総会及び理事会）
加古川中途失聴難聴協会 例会他
加古川市敬老会
など

活動効果

見えない障がいと言われる中途失聴難聴者・難聴者の方々に対して、要約筆記がコミュニケーション支援することで、ユニバーサル社会の一員として、社会参加が出来ていると考えます。

設立年月日 1994/2/1 会員数 23人（男：4人 女：19人） 規約・会則 有
入会条件 特に無。要約筆記に興味のある方 年会費 2000円 入会金 0円 活動
日数 48回 主な活動場所 加古川総合福祉会館

登録目的 公的機関からの情報、特に生活創造活動、地域づくり活動に関する情報を数多く入手し、中途失聴難聴者・難聴者に発信すると共に地域住民に密着したボランティア活動を目指すための指南が得たい。

ボランティア活動

- ・加古川敬老会（対象高齢者約7000人）
- ・市難聴者協会、例会交流会他 2回/月
- ・市身体障害者協会 月例会、研修会 他
- ・東播友くすの木学級
- ・市民福祉講座、市人権フォーラム 講演会他
- ・来年度も同様の活動が予定されます。